

令和7年度 事業報告書

I. 会員数	(令和7年度末)	(令和6年度末)
正会員	1080	1089
団体会員	16	18
学生会員	75	68
海外会員	0	1
名誉会員	6	6
特別会員	55 (75口)	60 (80口)

II. 事業に関する事項

(1) 学会誌の発行

- 学会誌「写真測量とリモートセンシング」を下記のとおり発行した。

<発行年月日>	<巻 号>	<発行部数>
令和7年 5月12日	64巻 2号	1340部
令和7年 7月10日	64巻 3号	1350部
令和7年 9月10日	64巻 4号	1340部
令和7年11月10日	64巻 5号	1335部
令和8年 1月 9日	64巻 6号	1345部
令和8年 3月10日	65巻 1号	1380部 (65巻1号は電子版も発行)

(2) 学術講演会・特別講演会・特別セッションの開催

① 年次学術講演会、特別セッションを下記の通り行った。

日時 令和7年6月12日、13日 ※オンラインと現地とのハイブリッド形式で開催
場所 東京大学生産技術研究所
参加者数 243人 講演数 42編
特別セッション：「学会誌電子化について」

② 秋季学術講演会、特別講演会、特別セッション、巡検を下記の通り行った。

日時 令和7年11月20日、21日
場所 山形県山形市 山形テルサ ※オンラインと現地とのハイブリッド形式で開催
参加者数 258名 講演数 66編
特別講演：「気候変動下で森林の多面的機能をどう活かすかー山形県の課題と挑戦」
講師：林田光祐教授（山形大学）
特別セッション：「なぜ、国際学会 ISPRS を日本に誘致する必要があるのか？」
巡検：米沢市(上杉家廟所・上杉神社・東光の酒造)/山形市(文翔館・県立博物館)等 参加者数20名

③ 支部において学術講演会・特別講演会を下記の通り行った。

- 北海道支部：特別講演会1回（7月18日） 参加者47名
学術講演会1回（3月13日） 参加者101名
- 関西支部：特別講演会1回（7月4日） 参加者46名

(3) シンポジウム、セミナー等の開催

- 測量・地理空間情報イノベーション大会 2025 に、「衛星リモートセンシングシンポジウム」として以下のプログラムで参加した。
日時 令和7年6月18日
場所 東京大学伊藤国際学術研究センター
タイトル「衛星データ利用の最新動向」 講演発表者：5名、対面参加：80名以上（配信もあり）
- 北信越支部 空間情報セミナー3回（6月27日、9月26日、11月28日）

- 関西支部 テクニカルセミナー5回 (4月25日、7月4日、10月24日、12月5日、
2月6日) 合計参加者数166名
若手技術者・研究者による技術研究発表会1回(9月5日) 東京・大阪合計参加者数48名

(4) 講習会の開催

- 本部：手持ちレーザスキャナ (SLAM) 講習会 (7月4日) 参加者数29名
UAV レーザ&写真測量講習会 (9月18日~19日/福島県白河市) 参加者数14名
小特集「3D Gaussian Splatting の活用事例」に関する勉強会 (12月8日)
オンライン開催 参加者132名
- 関西支部：空間情報学講習会・写真測量編 (8月1日) 参加者17名

(5) その他目的を達成するため必要な事業

① アジアリモートセンシング会議 (ACRS) の表彰事業 (JSPRS Award・Murai Award) への助成を行った。

② 対外協力委員会

- ・令和7年6月に開催された 測量・地理空間情報イノベーション大会2025に、「衛星リモートセンシングシンポジウム」として、以下のプログラムで参加した。
タイトル：「衛星データ利用の最新動向」 ※対面とオンラインのハイブリッド形式で開催
日本リモートセンシング学会との共同主催によるもので、6年ぶりの対面開催となり大変盛況であった。
今後も測量・地理空間情報イノベーション大会での対面型シンポジウム開催を予定している。
- ・衛星地球観測コンソーシアム (CONSEO) の会員として、引き続きイベントへの参加や当学会の活動紹介を行うとともに、HPやメーリングリストを通して会員への情報共有も行った。
CONSEO：地球観測衛星の利用者や出資者を含めた産学官が主体となり、地球観測分野の全体戦略等にかかる提言の策定や、衛星開発・実証及びデータ利用に関する共創並びに新規参入の促進に取り組むことを目的とした団体。
- ・昨年度に引き続き、今後の宇宙開発体制のあり方に関する「タスクフォース会合・リモートセンシング分科会」(TF) の幹事会および2つのワーキンググループ (地球科学研究高度化、実利用) の活動に参加した。昨年TFが実施した衛星地球観測ミッション第四回追加公募に対する審査結果と評価コメントが、2026年3月17日に公開された。
https://www.cr.chiba-u.jp/RemoteSensingTaskForce/pdfs/20260317_evaluation_comments.pdf
また、2026年1月15日に衛星地球観測ミッション第五回公募が発出された。今後、2026年5月に開催され日本地球惑星科学連合 (JpGU) にて議論が行われる予定である。

③ 国際協力委員会

- ・委員会を3回開催し、各国際学会における各国および日本の参加状況の分析や、国際学会に貢献しうる中堅・若手人材へのサポート体制の検討を行った。
- ・秋季学術講演会において特別セッション「なぜ、国際学会 ISPRS を日本に誘致する必要があるのか？」を開催した。この際、2026年7月にトロントで開催される ISPRS Congress において、京都大学の須崎純一教授が第3部会 (リモートセンシング) の部会長に立候補する事、その方針や意義を説明するとともに、過去の経験談も共有し、若手研究者を中心に より多くの日本人に参加、協力を呼び掛けた。
- ・ACRS (アジアリモートセンシング会議)
第46回ACRSがインドネシアで10月27日~31日に開催された。JSPRS Award を4名に授与した。
第47回ACRSはインドのニューデリーで10月12日 (月) ~16日 (金) に開催予定である。
- ・ISRS2025が5月に韓国インチョンで開催された。ISRS2026は2026年5月に島根県松江市で開催予定。
- ・3D Geoinfo & Smart Data and Smart City Conference が9月の千葉県柏市で開催された。
- ・The 9th Asia-Pacific Conference on SAR が10月に島根県松江市で開催された。

④ UAV 安全基準策定委員会

UAVの有視界外飛行が、ルールなどが整備されUAVの国家免許制度が始まり、いわゆるレベル4の運用が始まったが、その実情は整備、機体の認証など不透明な部分もまだ多い状態である。必要に応じて『測量調査を目的とした小型無人航空機を安全に運航するための手引き』の再改訂を含んだ対応をしていくことを確認した。また、次年度からは戦争に兵器として多くのUAVが偵察のみならず攻撃兵器として利用されている現状を受けて、安全保障の視点も含めて安全なUAV利用の考え方について議論を進める予定である。

⑤ 会員へのCPD活動を行った。

1. 学会誌購読 5P
2. 講習会受講 1P/h
3. 講習会講師 3P/h
4. 口頭発表(学術講演会) 2P/件
5. 原著論文執筆・・・単著・筆頭5P/件、共著者2P/件
6. 学協会活動等による社会・業界への貢献等

⑥ 学会賞・学術講演会論文賞等の表彰を行った。令和7年度の表彰は以下の通りであった。

- ・特賞 なし
- ・功劳賞(2名) 吉野邦彦氏、森宣彦氏
- ・学会賞 なし
- ・学会奨励賞(1名) 田中優也氏
- ・永年会員表彰(27名)
- ・学術講演会論文賞

年次学術講演会 論文賞(4名): 福士沙織氏、川村唯華氏、大平和輝氏、田中優也氏

秋季学術講演会 論文賞(5名): 石黒龍之介氏、田隅大路氏、小森惇也氏、張浩然氏、若菜舞香氏

⑦ 学会の公式ホームページの維持・更新を行った。

III. 処務の概要について

(1) 役員等に関する事項

令和7年度末現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職
会長	非常勤	清水 英範	令和7年5月23日	業務の総括	なし	日本測量協会
副会長	非常勤	長 幸平	令和7年5月23日	国際関連	なし	東海大学
同	非常勤	赤松 幸生	令和7年5月23日	渉外	なし	国際航業
常務理事	非常勤	今井 靖晃	令和7年5月23日	財務	なし	国際航業
同	非常勤	織田 和夫	令和7年5月23日	編集	なし	アジア航測
同	非常勤	中川 雅史	令和7年5月23日	学術講演会	なし	芝浦工業大学
同	非常勤	吉村 充則	令和7年5月23日	国際関連	なし	日本大学
理事	非常勤	大谷 仁志	令和7年5月23日	講習会	なし	コパコン
同	非常勤	小川 健太	令和7年5月23日	講習会	なし	酪農学園大学
同	非常勤	國井 洋一	令和7年5月23日	企画	なし	東京農業大学
同	非常勤	熊谷 樹一郎	令和7年5月23日	企画	なし	摂南大学
同	非常勤	須崎 純一	令和7年5月23日	国際関連	なし	京都大学
同	非常勤	祖父江真一	令和7年5月23日	渉外	なし	宇宙航空研究開発機構
同	非常勤	高木 方隆	令和7年5月23日	表彰	なし	高知工科大学
同	非常勤	竹内 渉	令和7年5月23日	渉外	なし	東京大学
同	非常勤	津留 宏介	令和7年5月23日	企画	なし	アイチズ創製
同	非常勤	中野 一也	令和7年5月23日	学術講演会	なし	金沢工業大学
同	非常勤	布施 孝志	令和7年5月23日	事務局長	なし	東京大学
同	非常勤	本多 嘉明	令和7年5月23日	部会	なし	千葉大学
同	非常勤	山下 恵	令和7年5月23日	渉外	なし	東京農工大学
監事	非常勤	武田 浩志	令和7年5月23日	監査	なし	国際航業
同	非常勤	新名 恭仁	令和7年5月23日	監査	なし	アジア航測
同	非常勤	李 勇鶴	令和7年5月23日	監査	なし	日本大学

(2) 職員に関する事項

職名	常勤・非常勤	氏名	担当事務	備考
事務局長	非常勤	布施 孝志	業務の総轄	東京大学
職員	常勤	岩下 典子	編集・庶務・会計	

(3) 会議等に関する事項

① 総会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年5月29日 15:00-16:00 全水道会館 大会議室	総会出席者（正会員） 659名（委任状による出席含む） 1. 令和6年度事業報告・収支決算報告・監事監査報告について 2. 令和7年度事業計画について 3. 令和7年度表彰；特賞、功労賞、学会賞、学会奨励賞授賞の報告・表彰、永年継続会員の報告・表彰	承認 報告 報告

② 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年5月14日	1. 令和6年度事業報告及び収支決算報告について 2. 会員の入会・退会の承認 3. 表彰委員会より 4. 学会誌電子化について 5. 各委員会より	承認 承認 報告 報告 報告
令和7年11月20日	1. 来年度の秋季学術講演会開催地について 2. 対外協力委員会活動報告 3. 国際協力委員会活動報告 4. その他委員会より	報告 報告 報告 報告
令和8年3月12日	1. 令和8年度事業計画案について 2. 令和8年度収支予算案について 3. 表彰委員会より 4. 永年会員表彰について 5. ISPRS について・国際協力委員会報告 6. 学会誌電子化について 7. 各委員会より	承認 承認 報告 報告 報告 報告 報告

③ 編集委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年5月7日	1. 新委員の紹介 2. Vol. 64 No. 3の編集について 3. 新論文の査読者の選定について 4. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について 5. 投稿要領・執筆要領改訂についての意見交換	確認 検討・確認 討議・確認 討議・確認 検討・討議
令和7年7月9日	1. Vol. 64 No. 4の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について 4. 投稿要領・執筆要領改訂についての意見交換	検討・確認 討議・確認 討議・確認 検討・確認
令和7年9月8日	1. Vol. 64 No. 5の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について	検討・確認 討議・確認 討議・確認

令和7年11月10日	1. Vol. 64 No. 6の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について 4. 次年度の表紙について	検討・確認 討議・確認 討議・確認 検討
令和8年1月7日	1. Vol. 65の表紙について 2. Vol. 65 No. 1の編集について 3. 新論文の査読者の選定について 4. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について	決定 検討・確認 討議・確認 討議・確認
令和8年3月9日	1. Vol. 65 No. 2の編集について 2. 新論文の査読者の選定について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について 4. 学会賞・学会奨励賞の推薦者について	検討・確認 討議・確認 討議・確認 討議・決定

④ 学術講演会実行委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年6月13日	1. 年次学術講演会の運営について	確認
令和7年8月29日	2. 秋季学術講演会に向けてのスケジュールについて 1. 秋季学術講演会の開催方法・概要・準備について 2. 秋季学術講演会プログラム編成と司会・審査者の選定 3. 秋季学術講演会の特別セッションについて 4. 来年度の秋季学術講演会開催地について	確認 確認 確認 確認 検討
令和7年11月21日	1. 秋季学術講演会の運営の振り返りについて 2. 年次学術講演会の準備について	確認 確認
令和8年3月10日	1. 年次学術講演会の概要、準備について 2. 年次学術講演会プログラム編成と司会・審査者の選定 3. 年次学術講演会の特別セッション、企業展示について 4. 秋季学術講演会の準備状況について	確認 確認 確認 確認

⑤ 表彰委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和8年3月9日	1. 令和8年度表彰について 特賞：該当者なし 功労賞：中舎哉氏、原慶太郎氏、森山雅雄氏 学会賞：該当者なし 学会奨励賞：該当者なし	選考・推薦・決定

⑥ 国際協力委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年7月29日	1. ISPRS 第3部会について 2. 秋季学術講演会・特別セッション企画について 3. 各種国際会議の動向について	確認 検討・確認 確認
令和7年9月4日	1. ISPRS 第3部会について 2. 秋季学術講演会・特別セッション企画について 3. 各種国際会議の動向について	確認 検討・確認 確認
令和7年11月13日	1. 秋季学術講演会・特別セッションの最終確認 2. ACRS 報告・ISPRS 報告 3. 各種国際会議の動向について	確認 確認 確認

⑦ 文献抄録委員会

開催月日（すべてE-mail 会議）	議事事項	会議の結果
令和7年4月1日～4月16日	学会誌 vol. 64 no. 2 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和7年6月6日～6月11日	学会誌 vol. 64 no. 3 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和7年6月16日～6月19日	委員1名交代	メール審議（全員賛成）
令和7年8月4日～8月13日	学会誌 vol. 64 no. 4 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和7年10月7日～10月17日	学会誌 vol. 64 no. 5 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和7年12月1日～12月15日	学会誌 vol. 64 no. 6 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和8年2月2日～2月17日	学会誌 vol. 65 no. 1 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和8年3月25日	長期スケジュールと実施履歴の共有	確認
令和8年3月25日～30日	委員1名交代	メール審議（全員賛成）

(4) 許可、認可、承認、証明等に関する事項

特記事項なし

(5) 契約に関する事項

契約年月日	契約相手方	契約の概要
令和7年4月～令和8年3月	昭和情報プロセス（株）	学会誌の印刷（年6回）

<追記>

（令和7年度事業報告の附属明細書について）

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。